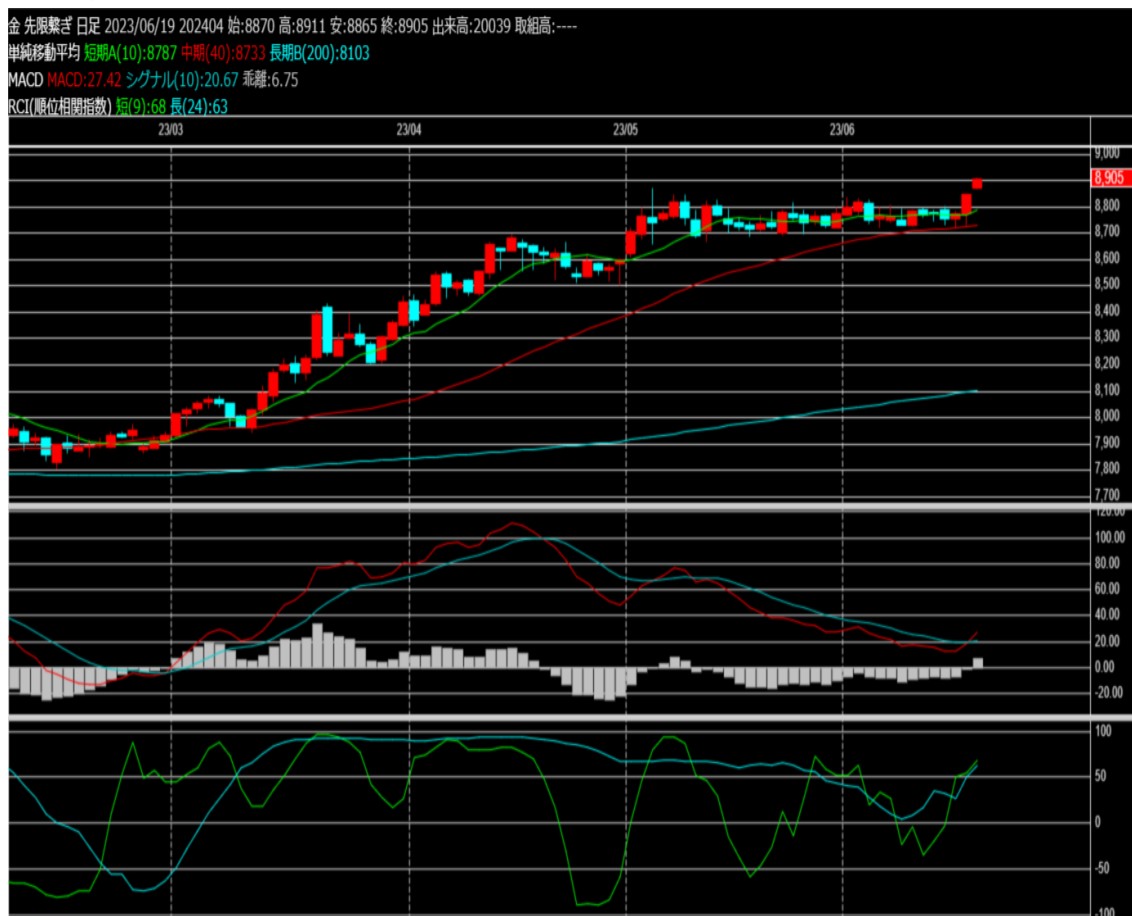


## <金標準、欧米日の金融政策の違いから円独歩安が支援・・・>



(出所：オアシス)

FOMC で FF レート誘導目標を 5%～5.25%へ据え置き発表したが、FOMC メンバーの金利予想は 5.6%を示唆し、2023 年内に 2 回の利上げを予想するなど市場の 1 回の思惑を上回っている。また ECB 理事会では、政策金利を 0.25%引き上げ実施し、ラガルド ECB 総裁は 7 月の会合も利上げを実施すると示唆するなどインフレ抑制姿勢を鮮明に示している。

しかし日銀金融政策決定会合は、現在行っている緩和策の継続を示唆し、また植田日銀総裁は為替水準の質問には答弁を避けるなど、円安を容認する姿勢を見せている。

そのため週末の NY 市場では円ドルは 141.92 円まで円安が進み、ユーロ円でも 2008 年以來の 155.22 円まで円安が進むなど、円の独歩安の動きを見せている。また今週 22 日にはスイス国立銀行の政策会合を控え、ヨルダン・スイス国立銀行総裁の発言もあり、利上げの可能性が高く、フラン高に伴う NY 金高で更なる高値を追う可能性は強まると思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD や RCI では、MACD は **MACD** が上昇し、**シグナル**の下げ止まりを上回るなど強気のサインを示し、RCI でも**短期**と**長期**が共に上昇を見せている。特に日足は **10 日移動平均線**が位置する **8787 円**を超えており、今週は 9000 円に向けた値動きを試して来ると思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,999,000 円(2023 年 6 月 19 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 40,700 円(2023 年 6 月 19 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>